

よび高井田地区で、約2000haの畑地帯に本年度中に通水が始まる予定でございます。

シラス対策事業では、新規の南中沖地区と継続中の中部、崎園および高井田地区の4地区で事業を実施し、農地の排水対策に努めてまいります。

菱田海岸につきましましては、防潮堤高上げと背後地の盛土を計画しているところでございます。

また、楕谷地区の農道整備を引き続き実施するとともに、谷迫地区の農業用排水路整備も進めてまいります。

さらに、農業生産や集落環境の利便性の一層の向上を図るため、新たに「農地・水・環境保全向上対策事業」の導入も計画しております。

『建設課関係』

環境基盤整備の根幹となります。まず道路整備につきましては、町道の維持管理に努めるとともに、「仮宿下原線」、「平良平良上線」の整備を進めてまいります。

また、豪雨時の市街地浸水対策として、上三文字地区の都市下水路工事を引き続き実施してまいります。

公営住宅関係につきましては、ひばりヶ丘住宅の屋根防水や電気配線改修を実施してまいります。

県工事関係では、垂水大崎線の整備が引き続き行われるとともに、篠段地区の砂防ダムが予定されております。

『福祉課関係』

まず、「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」の囲碁大会が平成20年度に本町で開催予定であります。その事前準備を兼ねたプレ大会を本年度に予定しております。

少子化対策では、子育てをしている人が安心して働くことができるよう、地域子育て支援センター、放課後児童健全育成事業を引き続き実施するとともに、「はっする広場」の充実にも努めてまいります。

また、健康教室の開催や各種検診を実施し、疾病の早期発見・早期治療を推進するとともに、寝たきりにならない元気な高齢者づくりの施策であります。「マスターズプロジェクト推進事業」も継続して実施してまいります。

次に、環境問題につきましましては、「埋め立てごみゼロ」を目指して、「資源ごみ分別の徹底」を図り、ごみの再資源化・減量化にさらに努めてまいります。

併せて、「菜の花エコプロジェクト事業」を引き続き推進するなど、「地域循環型社会の構築」にも努めてまいります。

『教育委員会管理課関係』

まず、施設整備の面では大きな懸案でありました持留小学校の改築工事が本年度中に完了の予定でございますが、その他の校舎等につきましても、安心安全の観点から、耐震診断や屋根防水工事を実施してまいります。

また、立小野、持留小学校におきましては、複式学級になることから、町の単独事業として補助教諭を配置することにしてまいります。

さらに中学校区を単位とした小学校間の児童の交流、町内全域を単位とした中学校間の生徒の交流をおして合同学習を実施し、少子化に対応するための教育環境のあり方についての検討も進めてまいります。

『社会教育課関係』

自主活動、地域活動の促進と社会教育学級や各種学習講座の充実を図るとともに、貴重な文化財である遺跡等の保存活用と、文化団体の育成にも努めてまいります。

また、異年齢集団による各種活動などを通して、主体的に生きていくことができる資質や能力を涵養し、心豊かな青少年の育成を図るとともに、

国際化時代に対応できる人材育成のための、海外派遣事業も実施いたします。

さらに、本年9月に曾於地区で開催される県民体育大会では、ゴルフ、剣道、グラウンドゴルフの3種目が本町で開催予定でございます。

『総務課関係』

交通安全対策につきましましては、関係機関と連携しながら交通安全施設の整備充実と交通安全教育の強化で、事故件数の減少を図ってまいります。

次に、消防防災関係では、防火水槽5基の新設と小型動力ポンプ2台の購入を予定しております。

また、災害時における連絡体制の充実を図るため、防災行政無線屋外子局1基を設置し、難聴地区解消に努めてまいります。

次に、観光関係では、益丸プールのトイレ改修など施設の充実を図り、観光客の入り込み数向上に努めてまいります。

商工業関係では、今後も引き続き商工会と一体となって商工業の活性化を図ってまいります。

『まちづくり推進室関係』

『地球温暖化』の防止に関し、町民を対象とした温室効果ガ

ス排出量削減の取り組みについての啓発事業を実施してまいります。

また、『ふれあいフェスタinおおさき』を引き続き実施するとともに、ビーチスポーツフェスタを核とした『大隅交流拠点プロジェクト』では、九州ビーチバレーリーグを誘致するなどして、町の活性化を図ってまいります。

さらに、野方地区に民間企業が開設する場外勝馬投票券発売所での売得金の一定割合が本町に交付金として入ってくることや、雇用の増大と経済効果などが期待されることから、施設活況のための利用促進事業を計画しております。

『水道課関係』

安全で快適な水の安定供給を行うため、災害に強い施設整備や良質な水の確保に努めてまいります。本年度は7路線の配水管布設替工事を計画しております。

また、公共下水道事業では、横瀬地区の汚水管建設工事と大崎クリーンセンターの増設工事を引き続き計画しておりますが、併せて、合併処理浄化槽設置補助金制度も引き続き実施し、環境保全に努めてまいります。